

あおぞら21



未整備の小学校に空調設備設置(12月会議) … 2
地方創生に対する取組と効果は(一般質問) …… 6

表紙：新成人を二分の一成人がお茶でおもてなし(街なかギャラリー：1月13日)



未整備の小学校に空調設備設置

12月会議を13日から19日まで開催した。

専決2件、条例3件、補正予算8件など議案等19件を審議採決した。また、陳情2件を趣旨採択した。町政に対する一般質問には8人が登壇した。

12月議会で決まったこと（12月13日～19日）

議案 号数	簡易議案名	概 要	質疑・討論 の有無	採決 結果
報告 9	専決処分の報告について	町道下鶴堂山線道路災害復旧工事の 変更契約	無	報告
報告 10	専決処分の報告について	中原団地地区宅地耐震化推進滑動崩 落対策施設（その2）工事の変更契 約	無	報告
議案 66	御船町一般職の職員の給与に関する条例 の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告に基づく一部改正	無	全会一致で 可決
議案 67	御船町長等の給与及び旅費に関する条例 の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告に基づく一部改正	無	全会一致で 可決
議案 68	御船町議会の議員の報酬及び費用弁償に 関する条例の一部を改正する条例の制定 について	人事院勧告に基づく一部改正	無	全会一致で 可決
議案 69	熊本市町村総合事務組合理約の一部変 更について	加入団体の名称変更に伴う一部変更	無	全会一致で 可決
議案 70	平成30年度御船町一般会計補正予算（第 3号）について	災害復旧等に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 13,698,577千円	有	全会一致で 可決
議案 71	平成30年度御船町国民健康保険事業特 別会計補正予算（第2号）について	保険給付費等に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 2,371,189千円	無	全会一致で 可決
議案 72	平成30年度御船町介護保険事業特別会 計補正予算（第2号）について	保険給付費等に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 1,970,288千円	無	全会一致で 可決
議案 73	平成30年度御船町後期高齢者医療事業 特別会計補正予算（第2号）について	総務費に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 222,032千円	無	全会一致で 可決
議案 74	平成30年度御船町緑の村運営事業特別 会計補正予算（第2号）について	総務費に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 53,523千円	有	全会一致で 可決
議案 75	平成30年度御船町公共下水道事業特別 会計補正予算（第2号）について	総務費に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 514,954千円	無	全会一致で 可決

議案 76	平成 30 年度御船町情報通信基盤施設運営事業特別会計補正予算（第 2 号）について	総務費に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 87,019千円	無	全会一致で 可決
議案 77	平成 30 年度御船町水道事業会計補正予算（第 2 号）について	水道事業費等に係る補正予算 予算総額 収益的收入及び支出 収入 327,092千円 支出 324,676千円 資本的収入及び支出 支出 435,631千円	無	全会一致で 可決
議案 78	町道の路線認定について	路線番号第41号 小坂八竜1号線	無	全会一致で 可決
議案 79	御船町と熊本県との間の平成 28 年熊本地震による災害により特に必要となった廃棄物の処理に関する事務の委託を廃止することの協議について	熊本県に委託した、平成28年熊本地震による災害により特に必要となった廃棄物の処理に関する事務の委託を、平成31年3月31日をもって廃止するため	有	全会一致で 可決
同意 3	御船町固定資産評価審査委員会委員の選任について	藤岡正視氏を選任	無	全会一致で 同意
諮問 1	人権擁護委員の候補者の推薦について	鋤崎澄夫氏を推薦	無	全会一致で 可決
諮問 2	人権擁護委員の候補者の推薦について	甲斐克己氏を推薦	無	全会一致で 可決
陳情 4	水越粒麦地区水道衛生環境改善に向けての陳情について	水越粒麦地区における水道衛生環境の改善（継続審査）	無	全会一致で 趣旨採択
陳情 5	水越馬立赤松地区水道衛生環境改善に向けての陳情について	水越馬立赤松地区における水道衛生環境の改善（継続審査）	無	全会一致で 趣旨採択

議案第70号 御船町一般会計補正予算（第3号）について

中城議員 一時借入金の最高額に20億円を追加し40億円とするとあるが理由は。

福田会計課長 1月、2月頃には例年歳入不足となるので20億円を追加補正した。

中城議員 通常の起債とは違い、つなぎ資金とのとらえ方でよいのか。

福田課長 一時的に借り入れるものである。

ふるさと納税PR広告料の費用対効果は？

福永議員 どのような広告をして、どのような効果を見込んでいるのか。

坂本幸喜企画財政課長 今年6月の事例で言えば、広告をしなかった週の6月1日から7日までの寄附額が82万8,000円ほど。広告を行った次の週の6月8日から14日までの寄附額は約5倍の約400万円であった。広告はかなりの増収につながるものと考える。

福永議員 82万円が400万円

と増えたが、その費用対効果をきちっと見極めてやってほしい。

坂本幸課長 先ほどの広告費は25万円。それで400万円の効果が上がった。最少の経費で最大の効果を上げる努力をしている。

福永議員 今回の補正額は300万円、千何百万円単位の増収を果たして欲しい。

ふるさと納税に対する自主財源額は

中城議員 ふるさと納税寄附

金が6,000万円の増額補正で、2億3,000万円になっている。11月末の寄付金額は幾らか。
坂本幸課長 11月末の金額は約1億5,240万円。

中城議員 2.3億円のうち町が自由に使えるお金、いわゆる自主財源はどれぐらいか。

坂本幸課長 約40%が町の自主財源となると見込んでいる。

中城議員 新聞報道によると、来年度から返礼品の額が30%という指導があっているが、影響はあるか。

坂本幸課長 全国的に30%に引き下げる見込みであり、御船町も影響は避けられない。

しかし、返礼品の内容を工夫する等して、ふるさと納税額を増やしていきたい。

国の補正予算を受け、町内の小学校の空調設備工事費として3億2,783万円

岩田議員 小学校の空調機器設置については、全国的な問題だから、機器不足等が心配される。早く入札をお願いしたい。設置にどれくらいかかるか。

坂本朋子学校教育課長 5、6月までには必ず終わりたい。
岩田議員 故障した時のことを考えたら、設置工事は地元の業者をお願いした方がいい。

坂本朋課長 地元業者ではなくて、もう少し大きいところをお願いしようと考えているが、今後協議していきたい。

田上議員 空調設備について、それぞれの学校の設置台数と金額は。

坂本幸課長 実施設計が上がってきていないので、具体的な設置台数と金額はまだ確定していない。今回補正に上げているのは補助金申請した金額である。

田上議員 補助金申請したときの台数はどうか。

坂本幸課長 普通教室、特別教室合わせて、対象の教室は63、当初予算も含めると69教室になる。それぞれの教室におおよそ2台と考えている。

現在、一般ごみの収集はどうなっている？

田上議員 ごみ収集については、3社ある業者のうち1社

が辞めたと聞いたが。

緒方環境保全課長 当初は3社と契約をしていたが、10月末に1社から契約解除の申し出があり、現在残りの2社と来年3月までの変更契約を結び、業務を進めている。

老人憩の家の現状は？

岩永議員 今、老人憩の家はどのようになっているか。

西橋福祉課長 平成30年3月で指定管理を満了し、今は休止状態にある。憩の家施設利用検討委員会を設置し、検討を重ねてきた。12月中に町長へ答申をしたい。

岩永議員 方向性としてはどのように考えているか。

西橋課長 検討を重ねた結果、町直営で嘱託職員を置くことでまとめた。

岩永議員 条例改正もあるので、今後産業厚生常任委員会に経過報告をお願いする。

本田副町長 名前を「町民憩の家」に変えたいと思っている。また、今後は防災拠点としても活用したい。



購入が検討される旧 JA 上野支所

森田議員 保育料の減額の説明を。

田中こども未来課長 熊本県で行っている多子世帯支援事業というのがあり、これまで第3子以降の0歳から2歳以下が無料とされていたが、これが第3子以降の全児童、0歳から5歳までの保育料が無料ということになり、減額となった。

森田議員 住宅使用料減額の説明を。

野口建設課長 中原住宅の避難者の入退所の関係で当初予算との比較で今回家賃の減額補正をした。

旧 JA 上野支所を買取り、公民館上野分館に

森田議員 上野支所の購入費増額の説明を。

宮川社会教育課長 J Aの台帳面積と実測結果に誤差があり、差額の50万円を今回計上した。

50万円の増額でJ Aと買取交渉を行う考えである。

本田副町長 J Aとの交渉がまとまったら総務文教常任委員会に報告する。

時の話題

本田副町長退任！大変お疲れ様でした。



退任のご挨拶 (30年12月19日議場にて)

議長のお許しをいただきましたので、この場を借りまして、議会の皆様をはじめ、町民の皆様にご挨拶申し上げます。私事ではございますが、30年12月31日をもちまして、御船町副町長を辞任したいと思います。去る28年12月1日より副町長として就任させていただきました。議会の中で、高齢でもあり健康面は大丈夫か、そういったご指摘も受けましたが、そのときは、私は、健康面はもとより気力の面からも自信がありました。何より熊本地震からの一日も早い復旧・復興のためということで、藤木町長をはじめ、多くの皆さんからの強い要請もあり、心から引き受けねばならないと思ったところでございます。

就任から丸2年、皆様もご承知のとおり、ある程度の災害復旧もできつつあります。災害公営住宅建設の発注も12月中には終わる予定でございます。企業誘致の件についても土地売買の目安もある程度立ちました。あとは行政調整のみとなり、御船町にもようやく明るい兆しが見えて参りました。私の責務もある程度果たせたのではないかと考えております。一方、年齢とともに体力も気力も徐々に劣って参りました。あとは若い方にバトンタッチすることが私の最良の道だと判断いたしました。2年間の勤務でしたが、この間様々な苦しみと共に、大きな喜びもありました。他の自治体よりも一日、いや一刻も早い復旧・復興、

そして安心・安全なまちづくりのために、藤木町長と二人三脚で誠心誠意頑張って参りました。そして、このことが私の生きがいでもございました。任期途中での辞任という私のわがままをお許し頂きたいと思います。議会の皆さんをはじめ、今日まで指導していただいた藤木町長、職員の皆さん、そして私を励まし続けて頂いた多くの町民の皆様方に心からお礼を申し上げます。

最後になりましたが、御船町のますますの発展とすべての町民の皆さんの御多幸と御健勝を心からお祈り申し上げます。辞任にあたりお礼の言葉といたします。本当にありがとうございました。



Q地方創生に対する取組と効果は

A移住対策と観光事業の連携による今後の効果に期待

田端 幸治 議員

地方創生並びに人口減少の原因と対策は

田端議員 国による地方創生事業は御船町にとって希望であり、有効活用することで大きな成果を生むことができると思う。藤木町長の地方創生に対する取組と成果はどのようなものか。

藤木町長 町の資源である吉無田高原や恐竜を中心として人の流れを作るため、観光分野に力を入れてきた。30年度より移住対策と観光事業の連携により今後効果が出てくるものと期待する。

田端議員 人口減少の原因をどのように理解しているか。

藤木町長 社会減や自然減によるもので、それに対応するために町外からの移住者、特に福岡県からの移住者をターゲットとした政策、また雇用の創出と子育てサポート体制等環境の充実を図る。

中山間地対策が人口減に歯止めをかける

田端議員 御船町における人口動態を見ると、人口減少の要因は中山間地の大幅な減少によるものであることは明白であり、いかにして中山間地の産業である農業を育成するか、そして上野吉無田インターを活かした定住促進に取り組むかである。町長の考えはどうか。

藤木町長 官民一体となった

取り組みが必要と考える。中山間地においては土地確保の問題で新たな開発等ができず企業等もなかなか進出できない状況にある。

農業については、集落営農が他町では進んでいるが御船町ではできていない。

田端議員 行財政改革における嘱託区再編が一向に進まない状況にあるが、再編は必要と考えるか。

藤木町長 嘱託区再編はしなくてはならない。高齢社会において、高齢者1人に対する支援者を増やす為にも再編は必要と考える。

職員採用増は財政を圧迫しないか

田端議員 近年、職員採用が増え続けているが、今後定年

延長も予想される中、財政を圧迫することになりはしないか。

吉本総務課長 29、30年度と地震の影響で職員数が増加している。国においても、人手不足の中で職員定年制の延長が議論され、そのような流れになって行くものと考ええる。

七滝中央小学校複式を予想

田端議員 七滝中央小学校児童数の今後の見通しは。

坂本学校教育課長 33年度から複式学級になることが予想される。

田端議員 教育長はどのように考えるか。

本田教育長 御船町の学校規模は国が定める基準でいくと小規模校ということになる。



小規模特認校の七滝中央小学校

Q企業誘致の現状と今後の取り組みはどうか

A道路管理者(県)、交通管理者(警察)との協議を進めている

中城 峯雄 議員



一般質問

大型商業施設進出に係る進捗状況及び今後の取り組みは

坂本企画財政課長 9月に大型商業施設予定地から半径5km以内の7箇所、嘉島町のイオン出入口で交通量調査を実施し、データの解析を行っている。その解析を基に、周辺道路網への影響評価を行い、道路管理者の県及び交通管理者の警察と協議を進めている。

中城議員 文化財の試掘調査を実施したが、結果は判明したか。

宮川社会教育課長 11月に進出予定地11haを対象に試掘調査を行った結果、候補地6haでは文化財が確認されなかった。しかし5haでは遺物、遺構が確認された箇所があったため、今後計画どおり進むよう協議を進めていく。

中城議員 今後の課題はどのようなものがあるか。



試掘調査の様子

坂本課長 課題は、①交通影響検討で管理者の県、警察との協議 ②管理者から同意を得られれば、都市計画法上の

手続きに進む。

中城議員 費用はどれくらいか。

坂本課長 町負担の費用は、
①コンサル委託料175万円
②埋蔵文化財試掘費用50万円
③交通量の調査解析2800万円
④都市計画の見直し2000万円
⑤周辺環境の整備（上下水道、町道整備は現在未確定）

中城議員 効果はどうか。

坂本課長 効果としては①進出企業の固定資産税、法人税
②雇用創出による個人の住民税、定住による固定資産税
③来客者が町内へ回遊した場合の観光消費（恐竜博物館、食事代、土産代）④地元産品の取引等による経済波及効果等が想定される。

中城議員 地元商店街等地域経済へのデメリットはないか。

坂本課長 企業の業種が小売業のため、同事業者への影響も懸念されるところだが、業態が会員制のため顧客の競合は極めて低いと考える。

中城議員 予定地の周辺は水田であり、交通渋滞により農作業に支障は出ないか。

藤野農業振興課長 警察、土地改良区と十分協議しながら、営農に影響がないよう十分配慮していく。

中城議員 御船町の人口は地震前と現在では約600人の人口減となっている。大型商業施設誘致は、若い人達の間で待望している声が多い。課題山

積ではあるが町発展のため、成功させてほしい。

野鳥の森の維持管理について

中城議員 くまもと野鳥の森の維持管理は、ボランティア3名の方に依存しているが人身事故が発生した場合の対応はどうするのか。

作田商工観光課長 今後は、町の総合賠償補償保険により対応する。

中城議員 作業のための草刈り機、チェーンソー及びガソリン代等全て自己負担となっているがどう考えるか。

作田課長 現場にプレハブ倉庫を設置して機械器具、消耗品等の保管をしていく。

中城議員 野鳥の森は今後どのように活用していくのか。

作田課長 現在、駐車場には仮設住宅が建設されているので、撤去後の活用について今後検討していく。

中城議員 ボランティアの方達の安全確保には十分努めてほしい。



ボランティアの皆さん
(左から杉本、城戸、原口の各氏)



Q 小学校の体育館、プール等の施設の現状は A 老朽化が進んでいるため、計画を立てて対応していく

清水 聖 議員

教育施設、備品の充実について

清水議員 滝尾小学校のプールは建設当初より排水溝がなく、最後は児童がバケツで汲み上げている。改善が必要と思うが。

坂本学校教育課長 現状は十分理解している。予算等を含めて長寿命化計画を立て改修にあたっていきたい。

清水議員 木倉、高木、滝尾小学校の体育館の現状は承知しているか。倉庫が無く体育用具は体育館入口に積まれていたり、バスケットゴールも移動をして使っている。

特に床は張り替えなければ危険が生じる状態にある。トイレもまだ和式のままで非常に不衛生である。避難所としても利用されるので、早急に対応してほしい。

藤木町長 基本的に、各学校からの予算要求を受け、予算化する仕組みとなっている。校舎同様、体育館やプール等の老朽化も進んでおり、大規模改修が必要な時期が来てい

る。今後、長寿命化計画を立てて対応していく。

清水議員 木倉小学校に教室が足りない可能性が出てきたということであるが、児童数が増えたのか。

坂本課長 今度入学予定の児童数が急増しており、1クラスに収まらないかもしれない。また、特別支援学級増設の可能性もある。



滝尾小体育館のバスケットゴール

清水議員 滝尾小、七滝中央小の児童数が減りつつある。対応策はあるか。

本田教育長 滝尾小学校は、2年、3年生が複式学級になったが、町雇いで教員を1人配置している。七滝中央小学校は、伝統芸能の虎舞、獅子舞、太鼓を見事に継承している。またコミュニティスクールとして、熊本県でも先進的な教育をしている。さらに、優秀教職員組織として文部科学大臣賞を受賞した。おそらく、全国のあるいは全県下の小学校が注目する学校に

なってくるのではないと思う。現在、小規模特認校として15名が校区外から通っている。この勢いで校区外の子どもの数が増えればと願っている。

清水議員 中山間地域に子育て支援に向けた住宅を建てるとか、地価も安いので宅地造成の計画はあるか。

藤木町長 中山間地域における少子高齢化等、人口減少が進む中、子育て支援住宅建設により、地域の活性化につながることはとても大切なことだと考えている。現在、災害公営住宅に多額の予算が求められている中、新たな住宅建設に向けた展開は難しい。地域に点在する空き家や廃校舎の利活用が考えられる。子育て世代の住宅ニーズも考慮しながら、中山間地域の活性化に向け検討していく。また、既存の町営住宅の空き部屋が中原団地を含め多数ある。子育て世代の移住定住対策として、他自治体の事例で入居条件を小学生または中学生までを扶養している世帯に対し、優先入居申込み及び家賃の減免入居など工夫を凝らした対応をしている。そのような自治体を参考に、公営住宅法の主旨を遵守しつつ行っていく。



入口横に置かれた体育用具(滝尾小体育館)

Q 災害公営住宅入居者の支援はどのように行うのか

A 地域やボランティアの方々と共にコミュニティ形成を図りたい

福永 啓 議員

一
般
質
問



福永議員 災害公営住宅は何戸整備し、申込みの状況はどうなっているか。

野口建設課長 災害公営住宅の申込みは、9月25日から10月26日までにいった。新たに建設する災害公営住宅が100戸、既存の木造仮設住宅を有効活用したものが57戸、既存の町営住宅の空き部屋を活用したものが15戸、計172戸に対して、申込みが161件あった。

福永議員 老朽化した町営住宅の現状はどうなっているか。

野口課長 長寿命化計画の中で用途廃止となっている町営住宅には、現在102世帯175人の方が住まわれている。

福永議員 私達は、震災を受けて想定外のことを想定しなければならないことを痛感した。老朽化した町営住宅対策は、町民の生命、財産を守る上でも喫緊の課題である。早急に対応しなければならない。仮設から災害公営住宅への転居にしても、老朽化した町営住宅からの生活再建にしても、終の棲家への転居となる可能性が大きいのであるから、健康上、精神衛生上の理由からその人に適した場所への転居が必要ではないか。

野口課長 単に空いているからそこに移ってくださという考え方では、うまくいかないと思う。災害公営住宅についても抽選に優先順位を採用していく。健康上、精神面、



建設が進む災害公営住宅（1丁目Ⅱ期地区）1月17日現在

衛生面にも、特に配慮し、その人に適した転居を今後も進めていきたい。

藤木町長 老朽化した町営住宅問題に関しては、安全性、衛生面の観点からも不退転の決意で解決していきたい。

福永議員 災害公営住宅入居者と地域とのコミュニティ形成や必要なサポートはどのように行っていくのか。

野口課長 基本的には区長、民生委員の方々を中心とした支援体制と協力を得ていきたいと考えている。

福永議員 復興住宅のコミュニティ形成は、区長、民生委員、ボランティア等々、幅広い方々に協力を仰ぎ、引越し以前にもその地域の方々と

ふれあいながら進めるべきではないか。

野口課長 役場だけですべてができるとは思っていない。他の被災地の事例からも、顔合わせ会とか、最初に入ったときから地元とのコミュニティを深めていくということもされている。区長、民生委員、ボランティアの方々を含めて広く協力いただく事が必要だと考えている。

福永議員 公共下水道特別会計は毎年多額の一般会計からの繰入があり町財政負担が大きい。今後どうするのか。

藤木町長 経営の抜本的な改革を検討する必要がある。



Q31年度から財政は赤字の見通し、対策はあるのか

A歳出の抑制、自主財源の確保に努める

藤川 博和 議員

経常収支比率について

藤川議員 28年度から29年度では、90.6%から92.0%と1.4%上昇している。

今後、公債費等の増額により、経常収支比率は29年度の92.0%を維持できるか。

藤木町長 熊本地震の災害復旧事業に対応するため発行した町債の償還が本格的に始まる。熊本地震に係る町債の元利償還金については交付税で措置されるが、満額が補填されるわけではないので、公債費の増加により経常収支比率は上昇していくことになる。

藤川議員 公債費について、28年度は6億円だが、中期財政見通しシミュレーションでは、31年度は10億円。その後の数年間は約14億円台と増えていく。ピークを迎える33年度の公債費の経常収支比率は何%になる見込みか。また、全体の経常収支比率は何%か。

坂本企画財政課長 33年度の公債費における経常収支比率は29.8%を見込

んでいる。また、全体の経常収支比率は95.7%と見込んでいる。

藤川議員 中期財政見通しシミュレーションでは、31年度から赤字になると見通しを立てているが、赤字解消についてどのように考えているか。

坂本課長 財源不足額に対して基金の活用や繰越金の活用により収支の均衡を図ることとしているが、非常に厳しい財政状況にある。財源不足解消のためには、行財政改革に取り組み、歳出抑制や自主財源の確保に努めていきたい。

自主財源の確保について

藤川議員 赤字解消は歳出の削減が必要だ。人件費や経費の削減があるが、もう一つ自主財源の確保がある。住民の増加による住民税・固定資産税等の増加や企業誘致による法人住民税などの税収も期待できる。

現在、御船町には大型商業施設の進出計画がある。藤木町長を先頭に全庁を挙げて誘致に向け努力されている。

町への財政効果も期待できるため、議会としても誘致が成功するように協力していく。

藤木町長が来年4月の町長選への出馬表明をされた。大型商業施設誘致への意気込みを聞かせてほしい。

藤木町長 大型商業施設の誘致は、たくさんの難題を解決しなければいけない。そのためには、国、県、各種団体、地域の皆さんの協力がなければいけない。そのとりまとめ役が私だと思っている。私がコーディネートしながら、皆さんとともに誘致成功の礎を作っていきたい。今、九州において、横軸は鳥栖が流通の拠点となっている。しかし、今回の大型商業施設を誘致し、これを拠点として縦軸においてはこの御船を中心に熊本、宮崎、鹿児島をつなげたいという思いでいるため、皆さんの協力をお願いしたい。

■ 中期財政見通しシミュレーション (平成30年～40年度) 平成30年10月試算

(単位: 百万円)

		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
歳入	町税	1,455	1,355	1,421	1,443	1,412	1,406	1,424	1,454	1,437	1,416	1,402	1,402	1,402	1,402
	譲与税・交付金等	448	407	431	437	442	506	506	506	506	506	506	506	506	506
	地方交付税	2,585	3,353	3,061	2,746	2,805	2,805	2,923	2,923	2,922	2,922	2,922	2,922	2,909	2,848
	小計	4,488	5,115	4,913	4,626	4,659	4,717	4,853	4,883	4,865	4,844	4,830	4,830	4,817	4,756
	計(A)	7,304	15,465	18,331	12,943	8,835	7,555	7,915	7,822	7,734	7,566	7,512	7,512	7,500	7,439
歳出	人件費	1,399	1,541	1,431	1,453	1,546	1,496	1,406	1,403	1,360	1,336	1,309	1,332	1,325	1,289
	扶助費	1,250	1,964	1,813	1,513	1,497	1,517	1,522	1,527	1,532	1,537	1,542	1,547	1,552	1,557
	公債費	577	601	682	709	976	1,095	1,470	1,430	1,427	1,415	1,328	1,303	1,254	1,144
	義務的経費計	3,226	4,105	3,925	3,675	4,019	4,108	4,398	4,360	4,319	4,288	4,179	4,183	4,131	3,989
	計(B)	6,875	14,397	17,181	12,634	9,218	7,672	8,003	8,074	7,978	7,836	7,656	7,638	7,574	7,446
	収支額(A - B)	429	1,067	1,151	309	▲382	▲117	▲88	▲253	▲243	▲270	▲143	▲126	▲74	▲8

【財源対策】

区分	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
財政調整基金等の活用	100	100	200	300	280	200	100	100	100	0
繰越金等の活用	309	27	10	122	169	206	135	92	66	92
財源対策後過不足額	27	10	122	169	206	135	92	66	92	84

財政調整基金等残高	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
	1,007	1,062	976	781	642	477	380	348	294	227	273

Q庁舎エレベーターの設置は A 31年度に調査・予算、32年度設置へ

池田 浩二 議員



一
般
質
問

庁舎エレベーター設置について

池田議員 高齢化が進む中、障害者、高齢者などに対して、バリアフリーのまちづくりをするためにもエレベーターは必要と考えるが。

藤木町長 総合的に勘案した場合、設置するものとする。32年度以降に庁舎エレベーター設置を予定し、公共施設等総合管理計画の改定、庁舎個別施設計画の策定、調査・設計などの事前準備に取りかかっている。

池田議員 32年度設置、31年度設計業務に入ることについてどう考えているか。

吉本総務課長 31年度に実施設計を予定している。

池田議員 上野吉無田インター周辺及び中山間地域の今後についてどのように考えているか。企業誘致も考えられ、周辺の土地評価は安いと思う。準備をしておく考えはないか。

藤木町長 上野吉無田インター周辺の土地利用と遊休施設の利活用を踏まえ、地域活性化に向けて検討を行っている。企業誘致の観点から、周辺の適地支援等選定調査をはじめ、閉校施設利用状況の把握、現地確認を実施し、町内から意見公募を行ったところである。

池田議員 中山間地域は非常に人口が減少している。インター周辺だけではなく、七滝、

水越地区等はどうのように考えているか。

坂本企画財政課長 中山間地域の中で、企業誘致に適した、適地検討・調査・選定を行い、業者の相談にのっているところである。

七滝地区には、七滝小学校跡地のプールを地元企業から利用できないか相談があっている。

池田議員 熊本地震で校舎は解体するのか。

宮川社会教育課長 社会教育センターは傷んでいる状況であり、解体の方向ではあるが、博物館の化石、文化財関係の発掘物の倉庫として使っているので解体ができない状況である。

藤木町長 今、人口減社会に対して地方創生という形で七滝の方は進んでいる。まずは、上野吉無田インターを利用し、賑わいを創出する。

池田議員 町長の前向きな考えとして受け止めたい。地方創生で予算が組めるものであれば総合計画の中でも計画していただきたい。

池田議員 景観条例の進捗状況また町全体の条例に関しては現在どのように考えているか。

坂本課長 現在、「里地里山法」で中山間地域に対して取り組んでいきたいと考えている。町全体の景観条例は考えていない。

中原北用地は来年度概略設計予定

池田議員 公有財産である中原北用地の状況と今後の対応は。

藤木町長 3年に移住地域及び開発地域として3万1,000平方メートルを約3億円で取得している。現在、境界の確定が終わっておらず活用できていない。また、当該用地へのアクセス道路が無いため、道路は必要不可欠と考える。

池田議員 19年に陳情があり、約30年間放置している状態である。

吉本課長 後手後手になっていた。具体的な計画を持っていなかったことは非常に責任を感じる。

池田議員 アクセス道路として、元火葬場からの進入路、また甲佐町との連携で乙女橋方面からのアクセスも考えられるのではないかと。

中原北用地の活用として、御船には野外のスポーツ施設もないため、今後計画していただきたい。また31年度には伐採、調査をしていただきたい。



雑草が生い茂る中原北用地



Q観光施設の活用をどうする

A人が訪れ消費が拡大する観光交流振興を目指す

田上 忍 議員

観光施設の活用は どうする

藤木町長 総合計画の基本構想で掲げているように「自然いっぱい、夢いっぱい、活気あふれる交流の町御船」を掲げ、人が訪れ、消費が拡大する観光交流振興で、住む人も訪れる人も心豊かになれる町を目指す。自然を活用した観光地づくり、恐竜をテーマとした事業などで観光交流人口のさらなる拡大を図る。平成音楽大学と包括協定を結び学生からも協力を得ている。

恐竜博物館を拠点に、街なかギャラリー、吉無田高原緑の村等の観光地への回遊と商店街や飲食店への紹介、案内、誘導を観光交流センターで促し、上野吉無田ICの開通を起爆剤として、中山間地域の活性化、雇用創出、観光等につなげていく。

街なかギャラリーの活用は どうする

作田商工観光課長 町内業者を中心に民間の気づきとアイデア等で本町通りの賑わいと商店街の活性化に繋げる。併せて地域おこし協力隊の活躍による地域づくり、地域活性化を目指す。

恐竜博物館の活用は どうする

宮川社会教育課長 来館者増加の取り組みとして、常設展の誘致と特別展の開催及び企画力、調査研究に基づく学術

テーマの発信、教育活動を中心としたサービス提供によるリピーターの確保、すべての活動を支えるコレクションの適切な管理と充実を展開する。

田上議員 化石発掘はどここの管轄か。

作田課長 管理は商工観光課で行っている。化石発掘体験は今年の12月まで行い、春休みから再開する。

田上議員 化石ひろばへの接続道路の課題は考えているか。

作田課長 年間3回ほど草刈りを行い、道路は町道であるので建設課にお願いしている。今後はもう少し徹底した管理を行っていく。

恐竜サミットとは

作田課長 兵庫県丹波市、兵庫県篠山市、北海道むかわ町、御船町、群馬県神流町が恐竜化石産出自治体の包括的な連携のもと、多様な分野で、交流・支援を行っていく。

田上議員 「竜学」とは何か。

宮川課長 恐竜の「竜」に「学ぶ」という形で今年は丹波市からむかわ町に子どもたちを何人か竜学させ交流を行った。来年度は御船町で行う計画である。

田上議員 小中学生を呼び込む計画は怎么样了か。

本田教育長 福岡、鹿児島からの来館者が多かった。校長会を活用して恐竜博物館の宣伝を行っている。

緑の村の活用は どうする

作田課長 自然豊かな場所と景観に恵まれた環境を生かしていく。併せてマウンテンバイクの大会、サッカー大会を誘致している。今年オープンした「星の森ヴィラ」や「ゆうすげの丘」のキャンプエリアの活用で集客を行う。

観光客の回遊を どう考えているか

藤木町長 周遊券とインターネット等でアピールできるようにいろいろ作っている。地域の皆さんとともに観光客の方々が周遊できるように常備していく。

田上議員 お土産品の情報発信はやっているか。

作田課長 特産品「いさぎ」は18業者27品目、パンフレットを作り各嘱託区長にPRしている。観光交流センターでも販売している。町内7店舗、益城町のエミナースでも取り扱っている。

今後、ふるさと納税の返礼品にするなどして、知名度を上げていきたい。

藤木町長 町づくりに一番大事なのは勢いだ。官民一体となって実行していく。



特産品の「いさぎ」販売ブース(観光交流センター)

Q 学校教育と子育て支援の4年間の成果は A 数多くの表彰等からめざましい成果があった

森田 優二 議員



一
般
質
問

就任当初計画されていた重点施策の成果は

本田教育長 学力向上等で全体的に成果は上がっている。

英語教育は、3年前からモデル校として取り組んでいる小坂小に加え、高木小でも取り組みたい。今後は、全校で1年生からの英語教育を目指している。

森田議員 先生の確保はできているのか。

本田教育長 他町村のように、中学校専門のALTをもう一人配置できれば、さらに英会話力が高まると考える。また、御船の学校で英会話を学ばせたいと町外からの転入も期待できると思う。

小学校の空調設備の設置状況は

坂本朋子学校教育課長 震災で被災して改築した小坂小以外、ほとんどの小学校で未整備。

森田議員 今議会に小学校の空調設備に係る予算が計上されているが、すべての小学校に設置出来るのか。

坂本課長 承認いただければすべて設置できる。

森田議員 工事発注の予定はいつごろか。

坂本課長 1月中旬に発注できればと考えている。

学校のトイレ改修の現状は

坂本課長 全体で132基のうち、洋式化された割合が全体の56%。

森田議員 国庫補助金はあるのか。

坂本課長 トイレ改修のみの補

助金はない。しかし町としては、個別の改修で早めの対応を考えたい。

御船高校の定員割れの状況は

坂本課長 29、30年度は78%である。

森田議員 御船中からの入学生徒数は。

坂本課長 30年度は34人である。

森田議員 高校のある自治体では、制服代等の補助を行っている話を聞くが、御船町においては、制服代等の補助の考えはないのか。

坂本幸喜企画財政課長 御船の生徒に対する補助は、今後前向きに検討したい。

御船高校は3年後100周年を迎える。100周年に向けた学校支援の考えは

藤木町長 地元の高校でもあり、前向きに検討していきたい。

森田議員 新聞に「中高一貫 学力向上に成果」という記事が載っていた。同じ町にある中学・高校であり、中・高の交流活動は行われているのか。

本田教育長 ロボコンは以前から行われている。また、中学校の公開授業には、高校の先生が20名以上参加されていた。今後は、お互いの授業参観も考えている。

森田議員 御船町は、小・中・高・大学までそろった町である。しかし、高校では定員割れ、また地元の生徒が2割も行かなく



地域の活動に参加する御船高校生

なった。高校再編に名前が出る前に、町をあげて考える時期に来たのかと思う。町長も次期町長選に出馬表明もされたので、地元高校支援に対する考えは。

藤木町長 統廃合計画が出てからでは遅い。日頃から、高校と地域の交わりが必要と考える。金銭的な支援だけでなく、高校生と対話することでより良い支援策を模索して行きたい。お互いに良い所を探し、より良い関係を作っていくことが大切だと思う。

森田議員 最後に町長は、当選当初から給食センター建設では、かなりの回数陳情活動をされていた。28年度の事業計画を提出した場合、過去に2回事業計画を取り下げているので、予算確保は非常に難しいと聞いていたが、町長の行動力が実った事により、28年度当初予算が付いた。防災行政無線も同様、活発な陳情活動が実を結んだと思う。また、インター付近の企業誘致についても、町長の頑張りで都市計画の見直しが出来ようになったと私は評価したい。「町民の為」「子どもたちの未来の為」また「教育はうそをつかない」を忘れず町政に頑張っていたいただきたい。

第 62 回全国町村議長大催される

御船町議会議長 田端幸治

11月21日 NH K ホールにて全国926町村議会を代表し議会議長が参加、第62回全国町村議長大催が、安倍晋三内閣総理大臣、大島理森衆議院議長、伊藤忠一参議院議長、荒木泰臣全国町村会会長はじめ多くの来賓を迎えて開催された。

大会冒頭、全国町村は、国民生活を支えるため、食糧供給、水源涵養、国土保全に努め伝統・文化を守り、自然を活かした地場産業を創出し、個性ある町づくりを進めてきた。

しかしながら、地方は少子高齢化や過疎化が進み地域活力は減退している、今こそ、国と地方が一体となって災害からの本格的な復旧・復興への取り組みを加速化させるとともに人口減少の克服と地方創生を実現するため、我々議会人は、第62回町村議会議長全国大会を開催し、地方創生の実現を目指し、一致結束して果敢に行動していくことを誓うことを宣言。

大会決議として

- 一、東日本大震災、熊本地震及び豪雨災害からの復旧・復興と大規模災害対策の確立を期する
 - 一、地方創生の更なる推進を期する
 - 一、分権型社会の実現と道州制導入反対を期する
 - 一、議会機能の強化及び議員のなり手確保を期する
 - 一、農林水産業新興対策の強化を期する
- 他12議案を決議し大会を終えた。

「議会議員のあり方」について、 町民皆様のご意見を募集します

議会改革推進特別委員会委員長 福永 啓

議会改革推進特別委員会では現在、議会議員のあり方について協議を行っています。報道等でも「議員のなり手不足」などの課題が報じられ、本町議会においても重要課題として認識し、御船町議会議員はどうあるべきか、議員に求められる役割等について意見を聴取しているところです。そこで、町民皆様からご意見を募集し、今後の調査・研究に活用させていただきますのでご協力をお願いいたします。

- 1 様 式 「御船町議会のあり方」についてアンケート
※様式はホームページからダウンロードできます。



- 2 募集期間 平成 31 年 1 月 31 日 (木) から 2 月 21 日 (木) まで

- 3 提出方法 ①郵 送 〒 861-3296 熊本県上益城郡御船町大字御船995番地 1
御船町議会事務局
②ファックス 096-282-1476
③持 参 御船町役場 3 階 議会事務局
④問い合わせ先 096-282-1386

12月の議会活動

月日	項 目	参加者	場所等
3日	産業厚生常任委員会	委員	審議会室
	議会運営委員会	委員	委員会室
	議会広報編集特別委員会	委員	議員控室
4日	御船町甲佐町衛生施設組合議会	組合議員	御船町甲佐町衛生施設組合
6日	議会改革推進特別委員会（意見交換会）	委員	第二分庁舎
8日	九州中央自動車道開通記念ウォーク	田端議長	山都中島西IC
10日	全員協議会	全議員	審議会室
	地方創生調査特別委員会	委員	審議会室
	議会広報編集特別委員会	委員	議員控室
13日	12月議会	全議員	議場
	議会改革推進特別委員会	委員	委員会室
15日	御船町消防団熊本県消防操法大会優勝報告会	議員11名	とらや
16日	九州中央自動車道開通式	田端議長	御船小体育館
17日	12月議会	全議員	議場
	議会改革推進特別委員会（意見交換会）	委員	審議会室
18日 ～ 19日	12月議会	全議員	議場
20日	上益城消防組合議会	組合議員	上益城消防本部
21日	都市計画審議会	藤川総務文教常任委員長	保健センター
26日	御船地区衛生施設組合議会	組合議員	御船地区衛生施設組合
28日 ～ 30日	消防団年末警戒	議員	各地区

かがやく



ひと

私と給食センター

学校給食センターで勤務するようになり、今春（4月）で2年目となります。ここは、町内小・中学校（七滝中央小学校除く）の学校給食をつくる施設です。ここでは、調理師の職員さんが早朝から給食時間に間に合うように、また、生徒の皆さんがおいしく笑顔で楽しく食べてくれることを思いながら、毎日調理に励んでいます。今の私の仕事は、この調理された給食を小・中学校へ安全に配送することです。

配送にあたっては、生徒の皆さんが、少しでも残食がないように、また完食してくれることを願いつつ届けています。各学校から、毎日食レポが届きます。「今日の料理は見た目が……。だけど食べてみると非常に旨かった。」「この料理は初めて食べた。」「好きではない。」「もつと食べたかった。」などたくさんの意見が書かれています。職員の皆さんは、この食レポを見ながら元気をもらったり、また反省したり、日々研さんしながら今後の調理に生かしています。学校給食は、人間として生きる力を育み、立派な体をつくり、成長させる活動源となり、病気に対しての抵抗力をつけ、心と身体の健康維持ができます。元気な生徒たちのために少しでも貢献できることを願ってこれからも努力していきたいと思っています。



6丁目
山口武夫さん

議会の予定2月

- 5日 議会運営委員会
- 8日 全員協議会(予定)
- 14日 議会(予定)
- 15日 熊本県議長会定期総会
- 25日 上益城広域連合議会
御船町甲佐町衛生施設組合議会
- 26日 御船地区衛生施設組合議会
- 27日 上益城消防組合議会

編集後記

熊本地震から3度目のお正月、それぞれの想いのお正月をお迎えだったことと思います。御船町も地震からの復旧・復興を目指し着々と進んでいます。100戸建設予定の災害復興住宅も予算化され、あとは完成を待つのみです。災害復興住宅として残す木造仮設住宅もほぼ決定し、土地の購入も着々と進んでいます。中原団地の修復も終わりで12月より入居が始まりました。いまだに仮設住宅で過ごしている皆様すべて転居できるまでにはもう少し時間がかかりそうです。

農地被害や道路などの被害についてもまだ復旧はできていません。とくに中山間地では稲の耕作ができない農地もあります。このままでは耕作放棄となる農地も増えるのではないかと懸念され早期の復旧が待たれます。また正月早々に久しぶりに発生した

大きな地震には驚かされ、あの熊本地震がよみがえってきた人ものいたのではないのでしょうか。今後、地震や大雨などの災害が発生しても防衛できる仕組み作りが必要となってきました。4月から稼働する防災行政無線をはじめとして災害に強い町づくりを住民協力のもと考える必要があると感じます。

田上 忍

議会広報編集特別委員会

発行責任者	田端 幸治
委員長	岩永 宏介
副委員長	中城 峯雄
委員	岩田 重成
委員	清水 聖
委員	田上 忍
委員	森田 優二